

パーククラブにおける機械の使用について

現在、パーククラブ内で機械の使用に関する議論を行っている。「使うべき」という意見と「使うべきではない」という意見が分かれている。
使用すべきかについてご検討いただきたい。

○これまでの議論

運営会議におけるこれまでの議論の中で、機械を極力使わず作業をすることが話し合われてきた。

生態系に関する考え方

木、竹の間伐や草刈りは、 極力機械を使わず作業する。

樹林や広場を管理するにあたり、木や竹の間伐や草刈など多くの作業があります。公園の面積は広いので、効率的に管理を行うには、チェーンソーや草刈機等の機械を導入した方がよいように思えます。

しかし、この公園では、機械を使った管理は極力行わないことにしています。その理由は、機械を使った管理は一度に作業が終わることができる反面、気がつかない間に必要な草木を切ってしまうことがあるからです。また、手作業で間伐、草刈作業を行うことによって、作業の休憩時間や1日作業した後に、「もっと木や草を切るべきか、残すべきか」を考える時間を持つことができるからです。

ただし、高所の危険を伴う作業、間伐材のチップ化のように手作業ではできない作業等、どうしても機械を使わなければならない場合があります。その時は計画を立てながら運営会議で調整しながら進めていきます。

また、行政が整備するリーディング区域やコラボレーション区域の基盤整備は、誰もが安心して使えるような場を早期に提供するため、機械を使った整備ができるものとしています。



散策路沿いの草刈り



竹林の整理

工事

活動の基盤整備に係る必要最低限の整備以外は機械を使って行わない。

活動

基本的にチェーンソーや草刈機等、機械を用いた整備は行わない。ただし、どうしても必要な場合は運営会議で調整を受け許可がでた場合のみ使用することができる。

○使用を希望する機械とその使用目的

左に示された内容をパーククラブは十分に理解している。その上で、作業の効率化を図るために、機械の使用を考えている。

(1) 草刈り機（刈払機）

使用目的：竹笹の処理の効率化

(2) チェーンソー

使用目的：倒木、折れ枝の処理

機械を使う上での前提条件

- 機械を使うエリアは、環境に急激な影響を与えないために、事前に植生調査、動物調査を行い、範囲で行う計画を立てる。
- 機械を使う場合は、事前に講習会を受ける。



手作業で行う竹笹の処理



公園内の倒木

○ボランティア保険の対象範囲

<加入している保険>

ボランティア活動保険 年間 500 円

- ・危険度が高いという理由から、草刈り機、チェーンソーともに保険の対象外

◆機材を使用した活動に対応した保険

○グリーンボランティア保険

<http://www.moridukuri.jp/hoken/insurance.htm>

団体登録料 2,000 円

一人あたり 262 円～686 円（1泊以上または動力を使用する場合）

○森林ボランティア保険

NPO 法人日本森林ボランティア協会が窓口になっており、チェーンソーや草刈り機を使ったボランティア活動に対する保険を取り扱っている。

<http://www.npomori.jp/hoken/index.html>

<森林ボランティア保険の概要>

①NPO 法人日本森林ボランティア協会に登録する。

登録費用 2,000 円（一団体につき 2,000 円。 初回登録時のみ必要）

②年間暫定掛金申告書で活動予定・年間暫定掛金を計算し、㈱甲南保険センターに FAX で申し込む。

③概算掛金を NPO 法人日本森林ボランティア協会に振り込む。

④活動記録を毎月 10 日までに、㈱甲南保険センターに FAX で報告する。

⑤6 月 30 日でいったん締めて、掛金を精算。

※毎年 4 月～10 月までの期間「森林大学」という間伐や森林についての講座も開設しているが、半年間のスケジュールで受講費が 30,000 円

◆チェーンソー使用の講習について

○社団法人大阪府木材連合会

<http://www.mokuzai.or.jp/rinsaibou/2011/2011koushoukai.htm>

伐木等(チェーンソー)従事者特別教育 受講料 14500 円

刈払機取扱作業安全衛生教育 9400 円

○森創り技術者 安全技能講習（通称：もりあん講習会） 主催 里山倶楽部

<http://www.satoyamaclub.org/koshu.html>

チェーンソーによる伐木、刈払機での草刈りなど、森林整備に必要な技術・技能の習得を目的とした講習。

<チェーンソーによる伐木講習>（全 3 日間）¥15,000

<刈払機使用法講習>（全 2 日間）¥10,000